

日韓市民ネットワーク・なごや

한일 시민 네트워크 · 나고야

Home Page : <http://www.nikkannet.jp/>

会報 No. 64

(通知版)

2013-2-9

発行者：後藤 和晃
〒483-8037 愛知県江南市勝佐町東郷 238
TEL/FAX 0587-56-6788

1. 日韓市民ネットワーク・なごや第16回総会のご案内

- 日時： 3月20日(祝)
- 14:30 金沢・能登“古代幻視”紀行のオリエンテーション
解説 事務局 後藤 和晃
- 15:30 日韓市民ネット第16回総会
- 17:00 有志懇親会(予算2500~3000円でいど)
- 会場： 名古屋国際センター5階 第2会議室 ※懇親会会場は未定
- その他： 14:30からの金沢・能登紀行のオリエンテーションにご出席頂ける方は、この通知版・スケジュール表をご持参ください。詳しい資料は当日配布予定です。

2. 2013年度会費の納入をお願いいたします

同封の振替用紙に住所・氏名ご記入の上、郵便局より振込んで下さい。

年間会費 一般成人 4000円 学生 2000円

加入者名 日韓市民ネットワーク・なごや 口座番号 00830-4-36485

3. 金沢・能登“古代幻視”紀行のご案内 ~日韓交流史フォーラム~

旅行の概要は次の通りです。

- (1) 期間 4月5日(金)~4月7日(日)
- (2) 乗物 借上げバス(人数により中型ないし大型)
- (3) 同行解説 金沢学院大・小嶋芳孝教授(渤海遺跡研究の第一人者です)
- (4) 参加費 58,000円

講師の御都合で、実施日が観光シーズンの土日を含む3日間となったため、少し割高のバス料金や宿泊料を払うことになりました。しかし、初日、2日目とも本物の温泉にひたり日本海の美味しい魚や貝を満喫する贅沢三昧の旅行です。振って御参加下さい!

- (5) 申込方法 交流史受講者は同封ハガキで、受講されてなかった方は、事務局・後藤宛、FAX またはメールでお申込みください。

“古代幻視” 紀行へのお誘い

日韓交流史の旅も、すでに5年。皆さんは韓国各地から旧満州（中国東北部）に至るまで、古代朝鮮の国々の心臓部を訪れ、それぞれの国の文化の特徴や日本との係わり方も学んで来ました。今回の旅行は、そうした経験を積み重ねたあなた自身が、古代の渡来人になりきり、渡来人の目として北陸の風土を旅していただこうと思います。高句麗人、伽耶人、新羅人など、それぞれの参加者が自分の出自を定め、北陸の風土と対する時、1500年前の渡来の人々の思いが少しでも伝って来るのではないのでしょうか！？今回の旅行を金沢・能登“古代幻視”紀行と名づけた由縁です。

今回の旅行の狙いの一つは、古代朝鮮の国々の中でも日本との係わりが薄かったと思われる高句麗や渤海が、日本との交流に大いに熱意を示していたこと、さらに高句麗系の渡来民も一定数存在したであろうことを確かめることです。ただし、これまでの歴史学や考古学の知見だけでは、なかなか渡来民の出自を明らかにすることなどは難しいはず。そこで私たちは40年ほど前に「日本の中の朝鮮文化」シリーズを世に送り、一大古代史ブームを巻き起こした朝鮮人作家の金達寿（キム・ダルス）氏流のアプローチも使って金沢周辺から能登方面を幻視していきたいと思います。

金達寿さんは、地方各地の神社に祀られている祭神の名前や神社の神官や氏子への聞き取り、地名や伝説の分析など多彩な情報を組み立てることで、古代朝鮮からやってきた渡来民の存在を“明らかに”していきました。

さて、日本海に面する福井から金沢、能登の海岸には古代朝鮮の大国だった高句麗、渤海の使節船がしばしば訪れてきました。大和朝廷が諸外国の使節船は瀬戸内海を経て、大阪湾に来てほしいと通知していたにも拘らず、彼らは意識的に舳先を北陸に向けたようにも見えます。その背景には北陸各地に高句麗系の住民がいたため、高句麗やその後身といわれる渤海にとっては、情報収集や交易などの面で利便が大きかったのではないかと……という見方もあります。



福良港（高句麗・渤海への出港地）

では北陸にどれ位、高句麗系の人々が来ていたのか？金達寿氏によれば「現在の石川県小松市は古代は高麗津（こまつ）で、金沢と羽咋の中間地点には高麗野（こまの…現在は無い）もあった。能登には高句麗系と思われる神社名が2ヶ所あり、古代の郷名も1つあった。神社名は古麻之比古（こましひこ）神社と、久麻加夫都阿良加志比古（くまかぶとあらかしひこ）神社だ。郷名は熊木（くまき）郷という」とのことです。



久麻加夫都阿良加志比古神社

古代日本で高句麗は、ほとんどの場合、高麗と記され「こま」と呼ばれていました。これは当の高句麗が狗（く＝いぬ）に通じるとして、国名から句を削って高麗としたためです。このため大和の官庁では高麗とほとんど記すようになりますが、地方では「音」が通じればよいと、国麻（こま）とか熊（くま）とか表記することが珍しくありませんでした。

金達寿氏が注目していた熊木郷は、久麻加夫都（略）神社を祭神としており、近く

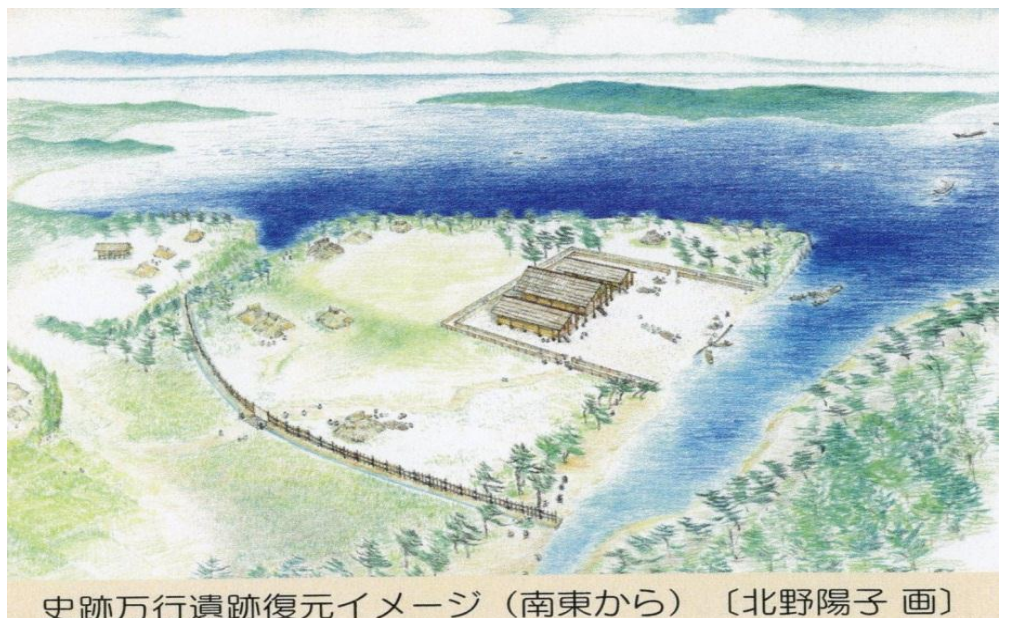
には高句麗や渤海の使節船が帰国する時の港とした福良（ふくら）港があり、少し北の方には数十ヶ所にのぼる製鉄遺跡も残っています。古代の福良港では使節船の修理はおろか新造も行われていたとされています。一方の製鉄場でも高い技術力が必要とされていたはずで、熊木郷がそうした技術の情報や人的資源の供給源となっていた可能性を考えることもできるでしょう。

久麻加夫都阿良加志比古神社という名前からは突拍子もないストーリーを考えることができます。それは祭神が久麻（くま）＝高句麗と阿良（あら）＝阿羅伽耶という遠く離れた2つの国名を名乗っているからです。思い浮かぶのは、伽耶の一国、阿羅伽耶の古墳からはなぜか高句麗系の馬の鎧が、数多く出土していることや、会員の有我氏が「阿羅伽耶は高句麗の主要氏族の一つ卒本扶余族が南進して建てた国だ・・・と、朝鮮の古書、桓壇古記にあります！」と語っていたことです。とすれば高句麗に出自を持つ阿羅伽耶の人たちが海を渡って能登に上陸、熊木郷をつくり、得意の製鉄技術など先進技術を伝えたことも考えられないではありません。

ともあれ、この神社に近い七尾市内には、大陸との交流というようなキーワードで考えたい謎めいた遺跡がいくつかあります。その一つが七尾湾に面した方行遺跡で、古墳時代の初頭という早い時期に、直径40センチという巨木を柱にした大型建物群が存在していたのです。

我々を案内していただく小嶋教授は「この建物群は大量の交易物資を収容する大型倉庫群で、中に納められたのは、海の彼方の北方の国々からもたらされた交易品だったのでは！」と言います。

今の裏日本が古代はまさしく表日本で、能登半島が本州の中央部から100kmも日本海に突き出していたことを考えれば、七尾湾に古代の交易センターが存在していたとしても何の不思議もありません。



史跡方行遺跡復元イメージ（南東から）〔北野陽子 画〕

さらに能登島にある蝦夷穴古墳は、石室の天井を高めるため四隅に石材をはさみ込むもち送り工法が高句麗古墳に似ているといわれてもいます。

いずれにしても古代の北陸には、半島各国から競って渡来した人たちが数多く住んでいたことでしょう。彼らの目に写った金沢や能登の風土はどんなものだったのか！？渡来人の目と心に寄り添いながら、「古代幻視」の旅を楽しんで下さい。



須曾蝦夷穴古墳

(6) 2泊3日のスケジュール

金沢・能登“古代幻視”紀行

主催：日韓交流史フォーラム

2013年	都市	交通	予定時刻	主要旅程	食事
	名古屋		7:15	JR名古屋新幹線改札前 時計塔 集合	朝(×)
		貸切バス	7:30	名古屋駅発 ～ (東海北陸自動車道 経由) ～	
4/5 (金)	金沢			野田山墓地 (朝鮮の役と前田一族・日清、日露戦・尹奉吉) 昼食 ～ 石川県埋蔵文化財センター (古代の金沢港関係) 西田庭園 (侍となった朝鮮人少年の名園) ～ 石川県庁展望室 (古代の金沢港解説) ～ ホテル着 (金沢城見学) ～ 夕食	昼(○) 夜(○)
			19:00	夕食 浅野川畔 割烹・魚常 (東の廊見学)	
宿泊：白島路ホテル 〒920-0937 石川県金沢市丸の内6-3 TEL 076-222-1212					
	金沢		7:00	朝食	朝(ホテル)
	羽咋	貸切バス	8:00	ホテル発 ～ 羽咋市歴史民俗資料館 ～ 寺家遺跡 ～ 気多神社 (祭神 大己貴命) ～ 福良港 (高句麗 ・渤海の使節船の出発地) ～ 昼食 ～ 剣地 (砂鉄の浜)	昼(○)
4/6 (土)	剣地			～ 輪島 (海士町公民館・キリコ会館) ～ 珠州・塩資料館 ～ 七尾・久麻加夫都阿良加志比古神社 ～ 和倉温泉	
	珠州			～ 七尾・久麻加夫都阿良加志比古神社 ～ 和倉温泉	
	七尾			～ 旅館着 夕食	夜(旅館)
	和倉		19:00	夕食 旅館にて	
宿泊：宿守屋寿苑 〒926-0176 石川県七尾市和倉ひばり2-52 TEL 0767-62-3322					
			7:00	朝食	朝(旅館)
	能登島	貸切バス	8:30	旅館発 ～ 能登島・ 蝦夷穴古墳 ～ 万行遺跡 (古墳時代初頭・全国有数の巨大建物群) ～ 国分寺跡 ～ 院内勅使塚古墳 (高度な加工技術を誇る石室) ～	昼(○)
4/7 (日)	七尾			雨の宮古墳群 (多彩な様式の古墳群) ～ 千里浜で昼食 ～ (羽咋駅へ講師送り) ～ (東海北陸自動車道 経由) ～	
	千里浜				
	名古屋		18:00	名古屋駅着、解散	夜(×)